

---

# 空は飛べないけど

みゆ貴茂

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

空は飛べないけど

### 【NZコード】

N1006E

### 【作者名】

みゆ貴茂

### 【あらすじ】

人間の可能性の話。人間は鳥のように空を飛ぶことはできないけど、人間だからできることがある。友情が教えてくれる、大切なこと。

「オレは鳥になるー！」

そう叫んでアタルは屋上から飛び降りた。

思いつきり助走をつけて翔んだアタルは、確かにそのとき空と太陽の一部になつた。

しかし、それはほんの一瞬のことで、太陽はアタルを地面へと叩き落とす。

まるで、翼を失ったダイダロスの子のようだ。

アタル 馬鹿だよ、お前は……。

大馬鹿だ。

生きてやんの……。

病院に見舞いにきた俺を見て、アタルは泣きじゅくしながら俺に痛みを訴えてくる。

「あたりまえだ、ぼけ！ 四階から飛び降りて、輝だけですんだのは奇跡的なんだぞ！」

「うひゅうひ

俺が本氣で怒鳴ると、体をショーンと丸めるアタル。

「今度、ばかりは本氣でつ本氣で

「じめん、修ちゃん

「…………」

アタルの『じめん』を聞き、俺は頭を抱えた。

「…………もういい

俺はため息をついて、ベッドの脇にあつたパイプ椅子に腰を下ろす。

日浦アタルは昔から変わった男だった。

幼稚園のときには俺の作った粘土のお団子を食べて腹を壊した。

小学生のとき、『夏休みの工作で東京タワーを作る』と言つて校庭に机や椅子を高く積み上げ、それが崩れた拍子に初代校長の像が首から折れて、大目玉を食らつた。

なぜか止めようとしていた俺まで。

中学のとき、地球の裏側が南アメリカだと知ったアタルは、『ちよつくりサンバ踊つてくるぜ』とか言って、穴を掘り始めて生き埋めになつた。

そして、高2の今日、『オレは鳥になる』と叫んで屋上から飛び降りたのだ。

何度、友達止めようと思ったかしらないけど、結局はフォローしてしまう自分がいるのだから仕方がない。

「ほりよ

「うわあ～

俺は持つてきた画板から一枚の画用紙を取り出す。

それを見てアタルは目を輝かす。

「空だあ

アタルははしゃいで言つた。

それは俺が描いた空の絵。

アタルが数日前から、『鳥つていいな。鳥つていいなあ』と空を見ながらぼやいてたので、

嫌な予感がしていた俺は、慌ててこの絵を描き始めたのだが間に合わなかつた。

俺はアタルの田を真つ直ぐと見つめて囁つ。

「いいか、アタル。人間は鳥にはなれない。鳥みたいには空を飛べないんだ」

「…………」

アタルは寂しそうに田を伏せる。

「うぐう。じらえり、俺！」

「ちゃんと聞け！ 確かに人間は空を飛べない。でも、その代わりにこうやって絵を描いたり、物語を書いたり、歌を歌つたりして、心の中で空を飛ぶ」ことができるんだ

「修ちゃん……」

「俺はドラえもんみたいに、タケコブターだしてはやれねえけど、絵は描いてやれる。だからそれで我慢しや」

「うん」

アタルは素直に頷いた。

俺の描いた絵を嬉しそうに眺めながら。

昔、アタルのおふくろさんに聞いた話では、アタルの脳にはほんの小さな傷があるらしい。日常生活を送るにはなんの問題もないけれど、ときどき突拍子もないことをしだすのはそれが原因のようだ。

だから、いつやつて頭ではなく、心で理解せいやりなやめこな  
ないんだ。

「ありがとう修ちゃん」

「おう」

にっこり笑いながらそつそつアタルの頭を俺はぽんと叩いた。

多分、この言葉を聞くために、俺は友達止めないんだと思つ。

「ねえ修ちゃん」

「ん？」

アタルはへらへらと笑つて俺に告げる。

「オレ、魚になるよ」

「！」

さすがにブチギレました、俺。

数年後、アタルは素潜りの世界大会で優勝した。

キラキラと太陽を反射させている波の上で、拳を突き上げながら、

「修ちゃん、オレ魚になれたぜえい！！」

そう、俺に向かつて叫んだ。

アタル、お前は人間だよ。

人間だから 。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1006e/>

---

空は飛べないけど

2010年10月14日22時18分発行